

【参考】 前年同期における監督指導結果

前年同期の監督指導結果は以下のとおり。

		令和2年 11月	令和元年 11月
監督指導の 実施事業場	監督実施事業場	82	72
	うち、労働基準法などの法令違反あり	63 (76.8%)	59 (81.9%)
主な違反内容	1 違法な長時間労働があったもの	26 (31.7%)	41 (56.9%)
	うち、時間外労働の 実績が最も長い 労働者の 時間数が		
	1か月当たり80時間を超えるもの	9 (34.6%)	11 (26.8%)
	1か月当たり100時間を超えるもの	5 (19.2%)	5 (12.2%)
	1か月当たり150時間を超えるもの	1 (3.8%)	3 (7.3%)
	1か月当たり200時間を超えるもの	0 (0%)	0 (0%)
	2 賃金不払残業があったもの	4 (4.9%)	18 (25.0%)
3 過重労働による健康障害防止措置が未実施のもの	15 (18.3%)	23 (31.9%)	
主な健康障害 防止に関する指導の 状況	1 過重労働による健康障害防止措置が不十分なため改善を指導したもの	26 (31.7%)	30 (41.7%)
	うち、時間外労働を80時間以内に削減するよう指導したもの	9 (11.0%)	17 (23.6%)
	2 労働時間の把握方法が不適正なため指導したもの	6 (7.3%)	7 (9.7%)